

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-224	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
109 文英堂	C I 719	Grove English Communication I		

1

編修の基本方針

教育基本法第2条に示された目標を達成するにあたり、以下の点を編修の基本方針とした。

- 男女共通に関係のある話題を選び、また学習者一般の生活環境に合うよう留意した。
- 題材の内容は、異文化、環境問題、社会活動、科学、歴史、物語など、広く各部門におよぶように留意し、広いものの見方・考え方の養成に努めた。
- 内容は、特定の宗教または世界観に偏らないように努め、時代の要請にこたえ、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深めるようにした。
- 明るいユーモアを含む教材を加えて、学習を楽しいものにさせ、英語への関心を高めるようにした。
- 身に付けた英語を実践に移すことを視野に、聞く、読む、話す[やりとり]、話す[発表]、書く、の5つの領域の言語活動を有機的に関連づけて指導する場を設けた。
- 英語を通してのコミュニケーション能力を養成するために、随所にリスニングやスピーキングの機会を設けた。

2

対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
LESSON 1 Communication with People Around the World	言語と文化的背景との関わりについて読み、幅広い教養を身に付ける場とした(第1号)。	10～14頁 18頁
LESSON 2 Pets and Humans: Together Through Time	時代とともに変わってきたペットと人間の関わりについて読み、生活との関連を重視する態度を養う場とした(第2号)。	22～26頁 30頁
LESSON 3 Musubi — Ties and Knots	日本人が結びに込めた思いについて知り、伝統と文化を尊重する態度を養うきっかけとした(第5号)。	34～38頁 42頁
LESSON 4 The Power of Mushrooms	日本が世界有数の森林率を誇り、その森の環境維持にキノコが大きな役割を果たしていることについて知り、環境の保全に寄与する態度を養う場とした(第4号)。	46～50頁 54頁

LESSON 5	視覚障がい者のための点字がデザインの力によって晴眼者と共通のコミュニケーションツールとなりえたことを知り、公共の精神に基づき社会の発展に寄与する態度を養うきっかけとした(第3号)。	60～66頁 70頁
Braille Neue: Connecting Dots with Lines		
LESSON 6	代替肉はなぜ作られるようになったのか、代替肉によってどのような問題が解決される可能性があるのかについて知り、真理を求める態度を養うきっかけとした(第1号)。	74～80頁 84頁
Is This Meat Real or Fake?		
LESSON 7	身の回りにあふれているプラスチックが環境にどのような影響を与えているかを知り、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うきっかけとした(第4号)。	88～94頁 98頁
Plastic Polluting Our Oceans		
LESSON 8	日本のマンガがどのように世界で受け入れられているのかについて読み、日本の文化を尊重する態度を養うきっかけとした(第5号)。	102～108頁 112頁
Manga: A Global Hit!		
LESSON 9	謎に包まれたペトラ遺跡について知り、幅広い知識と教養を身に付けるきっかけとした(第1号)。	118～124頁 128頁
The Mysteries and Secrets of Petra		
LESSON 10	一人の少女が環境問題を真摯にとらえることとなったのはなぜか、彼女の主張は何かを読み、個人の価値を尊重し、自主及び自立の精神を養う場とした(第2号)。	132～138頁 142頁
Greta Thunberg : No One Is Too Small to Make a Difference		
FOR READING	映画を原作とした話を読み、1960年代のアメリカが抱えていた人種問題を知る(第3号)。	146～153頁
Hairspray		

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 巻を通じて、英語でコミュニケーションをとる際に役立つよう、生徒にわかりやすい平易な英語を心がけた。
- 海外のみならず、日本の伝統文化を尊重し、自国の良さにも目を向けるよう配慮した。
- 英文を系統立てて読む訓練をするために、全4回 Check It! のページを設け、英文を読むためのスキルや、句読法、前置詞に関する解説を掲載した。
- 学びに向かう力を育成するために、巻を通じて2回の CLIL ページを配した。
- リスニングやスピーキングの際に必要な英語独特の音声変化や表現を確認するために、SOUNDS AND FUNCTIONS を全5回設けた。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-224	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
109 文英堂	C I 719	Grove English Communication I		

1 編修上特に意を用いた点や特色

「英語コミュニケーション」という科目名が示すように、コミュニケーションの一つの方法として英語を用いることを目標に以下の点に配慮し、本書の特色とした。

1 言語材料について

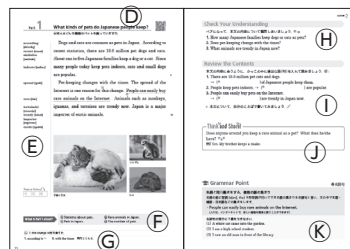
- 言語材料は、広くアメリカで用いられる表現、語法、綴りを中心とした。
- 題材の形式は、説明文、解説文、ネット記事、会話、物語形式などを採用した。
- 言語材料の使用にあたっては、指導要領に基づき、基本的な文構造・文法事項を用いた。
- 教材の配列にあたっては、段階的に1課のパート数と、1パートの語い数が増えるように全10課の正課を配したほか、特にリーディングをねらいとする教材を1つ置いた。

2 教科書の構成 (LESSON 1～LESSON 10)

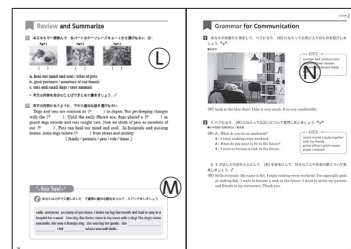
① 導入(見開き)



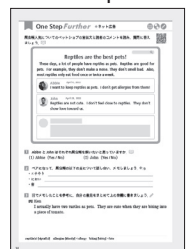
② 本文(見開き)



③ 本文後(見開き)



④ One Step Further



① 導入(見開き)	
Ⓐ Keywords	リスニングによって本文のキーワードを予習し、本文を読む手助けとした。
Ⓑ Warm-up	本文に関連する学習者の日常生活に密着する事柄を確認し、ペアでやりとりをすることで、本文への動機付けを行う。
Ⓒ Reach Your Goal	単元で学習する事柄を示すことにより、学習の道筋をつけやすくした。

② 本文(見開き)	
Ⓓ ガイド文	答えを探しながら本文を読むことで、内容理解の手助けとなる設問を設置した。
Ⓔ 傍注	新出語と発音を表記したほか、本文の内容理解を問うリスニング問題(True or False)を設けた。
Ⓕ What is Part 1[2,3,4] about?	各パートの概要を問う問題を設けた。
Ⓖ 脚注	1段目には代名詞などの内容を問う質問を、2段目には初出の固有名詞、意味のとりにくい表現、慣用表現などを置いた。慣用表現には生徒が意味を調べる際の助けになるよう、辞書で引く単語に下線を付した。
Ⓗ Check Your Understanding	本文の内容に関するやりとりを英語でするきっかけとなる英問を3問設置した。
Ⓘ Review the Contents	イラストや表を用いて形式を工夫した本文の内容に関する問題を用意した。
Ⓙ Think and Share	本文に関連して、意見や考えをほかの人と共有する場を設けた。
Ⓚ Grammar Point	本文で扱う文構造・文法項目の簡潔な説明と確認問題を置いた。

③ 本文後(見開き)	
㊤ Review and Summarize	課全体の内容を振り返り、まとめた文を完成させる問題を設けた。
㊤ YOUR TURN	課の内容をふまえて発表する場を設けた。
㊤ Grammar for Communication	課で学んだ文法事項を実践的に活用する場を設けた。
④ One Step Further	
	課の内容に関連して読む、聞く、話す[やりとり]、話す[発表]、書くの5領域から複数の活動を統合的に扱う場を設けた。

2 対照表

英語コミュニケーションⅠの「内容」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して、小学校学習指導要領(平成二十九年文部科学省告示第六十三号)第2章第10節の第2の2の(1)、中学校学習指導要領(平成二十九年文部科学省告示第六十四号)第2章第9節の第2の2の(1)及び次に示す言語材料のうち、五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
Check It! (Reading Skills 1) / SOUNDS AND FUNCTIONS 1～5	ア 音声 (7) 語や句、文における強勢 (イ) 文におけるイントネーション (ウ) 文における区切り	19頁, 31頁, 55頁, 85頁, 113頁, 143頁
Check It! (句読法)	イ 句読法 (7) コンマ (イ) コロン, セミコロン (ウ) ダッシュ	43頁
巻を通じて424語の新語(巻 末 WORD LIST A, B参照)	ウ 語, 連語及び慣用表現 (7) 小学校及び中学校で学習した語に400～600語程度の新語を加えた語	171～184頁
巻を通じて連語や慣用表現 は各課の脚注に示し、巻末の リストにまとめたうえで例文 を付した。	(イ) 連語 (ウ) 慣用表現	全般, 167～170頁
LESSON 1, 3, 4, 7, 8, 10	エ 文構造及び文法事項 小学校学習指導要領第2章第10節の第2の2の(1)のエ、中学校学習指導要領 第2章第9節の第2の2の(1)のエ及び次に示す事項については、意味のある 文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用する こと。その際、(イ)に掲げる全ての事項を、適切に取り扱うこと。 (7) 文構造のうち、活用頻度の高いもの	15頁, 35頁, 37頁, 51頁, 91頁, 93頁, 95頁, 103頁, 105頁, 107頁, 109頁, 139頁
LESSON 2, 5, 6, 7, 8	(イ) 文法事項 a 不定詞の用法	25頁, 67頁, 77頁, 91頁, 95頁, 103頁
LESSON 6	b 関係代名詞の用法	75頁, 79頁, 81頁
LESSON 9	c 関係副詞の用法	119頁, 121頁
LESSON 4, 7, 8 Check It! (接続詞)	d 接続詞の用法	51頁, 93頁, 105頁 99頁
LESSON 6	e 助動詞の用法	65頁
Check It! (前置詞)	f 前置詞の用法	129頁
LESSON 1, 3, 4, 9	g 動詞の時制及び相など	13頁, 39頁, 47頁, 125頁
LESSON 9, 10	h 仮定法	123頁, 133頁

(2) 【思考力、判断力、表現力等】情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。

イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
LESSON 1 Communication with People Around the World	・世界の人々と良いコミュニケーションを取る際に必要なことについて読んで理解し、自分自身の経験や考えを表現する。(ア、イ) ・本文の内容について、情報をまとめて伝える。(ウ) ・自分についてまとめて自己紹介をする。(ウ)	10～15頁 16頁 18頁	9
LESSON 2 Pets and Humans: Together Through Time	・人間とペットのかかわり方の変遷の歴史を読んで理解し、身の回りの経験や、自分の考えを表現する。(ア、イ) ・本文の内容をもとに、情報をスピーチとして伝える。(ウ) ・爬虫類を飼うことに対する自分の考えを適切に表現する。(ウ)	22～27頁 28頁 30頁	9
LESSON 3 <i>Musubi</i> — Ties and Knots	・日本人が結びに込めた思いや願いについて読んで理解し、自分自身の考えをまとめる。(ア、イ) ・本文の内容をもとに、情報をまとめて会話をする。(ウ) ・手ぬぐいについての情報をまとめ、紹介しあう。(ウ)	34～39頁 40頁 42頁	9
LESSON 4 The Power of Mushrooms	・森の中でのキノコの役割について読んで理解し、情報や自分自身の考えをまとめる。(ア、イ) ・本文の内容をもとに、情報をスピーチとして伝える。(ウ) ・トレッキングの注意点について聞いた情報を確認しあう。(ウ)	46～51頁 52頁 54頁	9
LESSON 5 Braille Neue: Connecting Dots with Lines	・点字とブレイルノイエについて読んで理解し、自分自身の考えを表現する。(ア、イ) ・本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(ウ) ・ブラインドサッカーについての情報を読み取り、要点を明確にしてメールを書いて伝える。(ウ)	60～67頁 68頁 70頁	11
LESSON 6 Is This Meat Real or Fake?	・代替肉の研究が進む背景などについて読んで理解し、自分自身の考えを表現する。 ・本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(ウ) ・仮想水についての情報を活用しながら、情報を伝えあう。(ウ)	74～81頁 82頁 84頁	11
LESSON 7 Plastic Polluting Our Oceans	・プラスチックが生態系に与える影響を読んで理解し、自分自身の考えを表現する。 ・本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(ウ) ・食品ロスについての情報を活用しながら、情報を伝えあう。(ウ)	88～95頁 96頁 98頁	11
LESSON 8 Manga: A Global Hit!	・マンガが世界中でどのように受け入れられているかを読んで理解し、情報をまとめて表現する。(ア、イ) ・本文の内容をもとに、情報をまとめて会話をする。(ウ) ・与えられた資料をもとに、必要な情報を伝えあう。(ウ)	102～109頁 110頁 112頁	11
LESSON 9 The Mysteries and Secrets of Petra	・謎が多く残る中東の都市ペトラについて読んで理解し、情報をまとめて表現する。(ア、イ) ・本文の内容をもとに、情報をスピーチとして伝える。(ウ) ・世界遺産について調べた情報をまとめて発表する。(ウ)	118～125頁 126頁 128頁	11
LESSON 10 Greta Thunberg: No One Is Too Small to Make a Difference	・グレタさんが環境問題についての活動を起こす経緯を読んで理解し、情報をまとめて自分自身の考えを表現する。(ア、イ) ・本文の内容をもとに、役になりきって情報を伝える。(ウ) ・SDGsについて考え、情報を整理して発表する。(ウ)	132～139頁 140頁 142頁	11

FOR READING	・1960年代のアメリカが抱える問題や主人公の女の子の心情を的確に読みとる。 (ア)	146～155頁	6
Hairspray			
		計	108

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

図構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
巻を通して中学校における学習内容を用いた活動を設けた。	ア 中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(3)の①に示す言語活動のうち、中学校における学習内容の定着を図るために必要なもの。	全般
巻を通して聞く活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	イ 聞くこと	全般
巻を通して読む活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	ウ 読むこと	全般
巻を通して話す[やりとり]活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	エ 話すこと[やり取り]	全般
巻を通して話す[発表]活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	オ 話すこと[発表]	全般
巻を通して書く活動を設け、  マークを付した。また、特に意識して他の言語活動領域と結び付けた統合的な活動を設けた。	カ 書くこと	全般

② 言語の働きに関する事項

言語活動を行うに当たり、例えば、次に示すような言語の使用場面や言語の働きの中から、五つの領域別の目標を達成するためにふさわしいものを取り上げ、有機的に組み合わせて活用するようにする。

ア 言語の使用場面の例

- (ア) 生徒の暮らしに関わる場面 (イ) 多様な手段を通して情報などを得る場面
(ウ) 特有の表現がよく使われる場面

イ 言語の働きの例

- (ア) コミュニケーションを円滑にする (イ) 気持ちを伝える (ウ) 事実・情報を伝える
(エ) 考えや意図を伝える (オ) 相手の行動を促す

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所
	言語の使用場面	言語の働き	
LESSON 1 YOUR TURN One Step Further	(ア) 会話 (ア) 学校	(ア) 繰り返す, (イ) 驚く, (ウ) 説明する, (オ) 質問する (イ) 感謝する, (ウ) 報告する, (オ) 注意を引く	16頁 18頁
LESSON 2 YOUR TURN One Step Further	(ア) スピーチ (イ) ネット広告	(ウ) 説明する／描写する, (オ) 注意を引く (ウ) 説明する／描写する, (エ) 賛成する／反対する	28頁 30頁
LESSON 3 YOUR TURN One Step Further	(ウ) 電話 (イ) ネット記事	(ア) 相づち, (ウ) 説明する, (エ) 希望を伝える (ウ) 説明する	40頁 42頁
LESSON 4 YOUR TURN One Step Further	(ア) スピーチ (イ) アナウンス	(ウ) 報告する (ウ) 説明する／理由を述べる, (オ) 注意を引く	52頁 54頁

LESSON 5 YOUR TURN	(ア)インタビュー	(ア)挨拶／相づち／言い換える, (イ)感想を述べる／驚く, (ウ)説明する, (オ)質問する	68 頁
One Step Further	(イ)チラシ	(ウ)説明する	70 頁
LESSON 6 YOUR TURN	(ア)インタビュー	(ア)挨拶, (イ)感想を述べる, (ウ)説明する, (オ)質問する	82 頁
One Step Further	(イ)ウェブサイト	(ウ)説明する, (オ)質問する	84 頁
LESSON 7 YOUR TURN	(ア)レポート	(ウ)説明する／描写する	96 頁
One Step Further	(イ)ポスター	(ウ)説明する／描写する, (エ)提案する	98 頁
LESSON 8 YOUR TURN	(ア)学校	(ア)相づち, (ウ)説明する, (イ)感想を述べる, (オ)質問する	110 頁
One Step Further	(ウ)買い物	(ウ)説明する, (イ)感想を述べる, (オ)注意を引く／依頼する	112 頁
LESSON 9 YOUR TURN	(ア)スピーチ	(ア)挨拶, (ウ)説明する	126 頁
One Step Further	(イ)ウェブサイト	(ウ)説明する／描写する, (イ)感想を述べる	128 頁
LESSON 10 YOUR TURN	(イ)SNS	(ウ)報告する	140 頁
One Step Further	(イ)ポスター	(ウ)説明する／理由を述べる, (イ)主張する	142 頁
SOUNDS AND FUNCTIONS 1～5	(ウ)買い物	(ア)注意を引く, (イ)希望を述べる, (ウ)例を示す／説明する, (イ)希望を伝える, (オ)質問する	31 頁, 55 頁
	(ウ)電話	(ア)相づち, (イ)希望を述べる／感謝する, (ウ)例を示す／説明する, (イ)希望を伝える, (オ)意向をたずねる	85 頁
	(ウ)道案内	(ア)話しかける, (イ)お礼に対して返答する／感謝する, (ウ)説明する, (オ)場所をたずねる	113 頁, 143 頁
HOW DO YOU SAY IT IN ENGLISH?	(ア)学校	(ア)問をとる／聞き直す, (イ)感謝する, / 謝る, (ウ)質問する, (イ)理由を述べる／賛成・反対する, (オ)注意をひく／依頼・提案する	後見返し

英語コミュニケーションⅠの「内容の取扱い」・・・・・・・・・・・・・・・・

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
全体を通して、五つの領域の言語活動を複数結び付けた統合的な言語活動を意識して扱った。	(1) 中学校におけるコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための総合的な指導を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、総合的に指導するものとする。	全般
・特に前半の課においては、中学校における基礎的な学習内容を意識して扱った。 ・言語材料について、中学校で扱った学習内容も含め、巻末の「文法のまとめ」で整理した。	(2) 中学校における学習との接続のため、既習の語句や文構造、文法事項などの学習内容を繰り返したり、特にこの科目の学習の初期の段階においては中学校における基礎的な学習内容を整理したりして指導し、定着を図るよう配慮するものとする。	全般 160～166 頁